

研修だより

糸島市立一貴山小学校
平成26年11月14日（金）
学力アップ部

2年1組の子どもたち、尾形先生ありがとうございました！

【単元名】「わくわくドキドキ 校区探検」【内容(3)】

【単元目標】

- 身近な地域の人々や様々な場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気をつけて、見たり調べたりすることができる。（関心・意欲・態度）
- 探検してわかったことや思ったことを自分なりに工夫して絵や言葉で表したり、他のグループの探検の発表を聞いて類似点や共通点を考え、一貴山校区のいいところをとることができる。（思考・表現）
- 地域には、様々な場所や人・ものがあることがわかり、それらが自分たちの生活を支えたり、豊かにしていることに気付くことができる。（気付き）

【本時目標】

- 校区を探検して調べたことや思ったことを進んで伝えることができる。（関・意・態）
- 他のグループの発表と自分たちのグループの発表との類似点や共通点を考え、一貴山校区のよさを見つけ、伝え合うことができる。（思考・表現）
- 一貴山校区には、様々な素敵なお店や場所があり、多様な人々が生活したり働いていることがわかり、自分たちの生活を支えたり豊かにしていることに気付くことができる。（気付き）

【本時展開】

- これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。
(1)これまでの活動を想起する。
 - ・校区探検をしてわかったことや思ったことをまとめて発表する準備や練習をしてきたこと
- (2)本時のめあてを確認し、本時学習の見通しをもつ。

他のグループの発表を自分たちのグループと比べて聞き、「いきさんのいいところ」をもっと見つけよう。

- 各グループの校区探検の発表を聞き、感想を出し合う。
 - Aコース（にこにこコース）
麦の木 仁王門
 - Bコース（最強グループ）
カントリーオープン 曲がり田の里
 - Cコース（仲良しグループ）
糸島だんご 鈴木ストア 瀬戸さん宅
- 一貴山校区のいいところについて、見つけたことをワークシートに書き、発表する。
 - 地域の人やものをとても大切にされている
 - いろいろなお店や仕事をがんばっている
- 一貴山公民館長さんから発表に対する評価やお話を聞く。
 - ・子どもたちの発表の良さを評価された
 - ・一貴山の四季折々の自然の美しさ
- 本時学習を振り返り、感想を発表する。
 - ・ぼくは山に住んでいるけど、そこから見る街の風景はきれいだったと思った。
 - ・



【グループ発表の様子】



【全体交流の様子】



【GT清水館長さんの話の様子】

（尾形先生の自評）

- 発表することに対して意欲的で他のみんなにわかるようにという思いでできていた。（関心・意欲・態度）
- 「一貴山校区のよさを見つける」に関しては難しかった。繰り返し関わっていかうというところまでは、至っていない。（思考・表現）
- 子どもの発表の中に多くの気付きはあったが、新たな気付きの面では難しかった。（気付き）

【授業を見られた先生方より】

教科等研生活科部会の皆さんと 合同で行いました。

- 子どもたちはみんなとても素直で意欲的であった。
- グループごとの発表では、大きな声で内容があるわかりやすいすばらしい発表であった。
- 発表原稿は、「はじめ・なか・おわり」でまとめられていて、国語科との関連が図られていてよかった。
- 子どもの生活している中でしか見れていない。だから、他の人がもっているものさしを提示する。例えば、広告、テレビによる一貴山の良さを伝える。
- 発表後に知っているかを尋ねる時に、しっかりよさを確認したり、「子ども110番」などの付加価値をつけることもいいのではないかな。
- 全体発表よりもグループごとに3つのコーナー名を設け、聞く側と話す側に分けて、ローテーションする。そのことで、一人一人の気付きや感じたことを表現できる。また、GTにもそこに入って頂き、発表の良さを評価してもらったり、GTがとらえてある一貴山のよさを語って頂くようにする。
- 一貴山のよさを感じさせるには、大きな校区マップに探検した所を貼っていき、視覚的にもすばらしさを感じさせるとよかった。
- 思考をうながす交流活動の工夫では、発問が大切である。例えば、「ランクづけ」や「何が一番か？」等、条件を付けた発問にするべきである。
- 子どもの発表内容は事前に分かっているので、教師が前もってチェックしておく。キーワードでまとめ短冊を使って板書で整理していく。
- 探検コースが7つに増えたことは、子どもの意欲を高めた。さらにもう1回探検にできればさらにいい。
- 北と南に分けて、それぞれで探検し、よさをまとめる。比較していくといい。
- 子どもの発表は、声だけなので消えていった。だから文字として残し、可視化することが大切である。
- 板書で整理していくときに、「人・もの」に分けて分類し、整理していく。
- 「感じたところ・思ったところ」をして、「一貴山のいいところ」の順番でスモールステップでねらいにつなげることが大切である。
- グループ発表後に、感想交流をもつとする。また、GTが語られた自然の美しさの写真等を準備する。
- 直接体験により人の素晴らしさによく気付き、よい出会いをした。とてもいい体験であった。



【グループ発表の様子】



【表現物】



【本時振り返りの様子】

思考をうながすための 交流活動の工夫

- タイトルを付けたりして、判断を求め、その理由を問うことが思考を促す
- 7つの探検ポイントを仲間分け（分類）させる。一人一人の気付きが表れる

松本教頭先生より

※どの教科でも「判断」させて、その「理由」を問うことがより思考をうながす。

